

(案)

( 契維第 6－〇号 )

印  
紙

## R 6 年度 松江市上水道配給水管修繕業務契約書

松江市上下水道事業管理者 上下水道局長 小塚 豊（以下「発注者」という。）と受注者は、次の条項により松江市上水道配給水管修繕業務契約を締結する。

(総 則)

第 1 条 本契約は上記の修繕業務についての、業務内容及びその費用について定めるものとする。

(業務場所)

第 2 条 業務場所は、松江市内一円（斐川宍道水道企業団給水区域を除く。）とする。

(工事施工体制の保持)

第 3 条 発注者は、受託期間の終日に亘り修繕工事を施工する体制を保持するために、体制表を作成し、受注者に提出するものとする。

2 受注者は、前項で定めた体制表に従い修繕工事を施工するための体制を保持するものとし、不都合が生じた場合は受託者間で調整し、その旨を発注者に報告するものとする。

3 受注者は、当番表に則り発注者より緊急対応の依頼があった場合、迅速に対応しなければならない。

4 受注者は、工事施工体制の保持が困難となった場合、その旨を発注者に報告しなければならない。その場合、発注者は本契約を解除することができる。

(緊急時等の受託者間相互協力体制)

第 4 条 受注者は、体制表にかかわらず、災害及び大規模な修繕業務が発生した場合は、他の受注者と相互協力に努めるものとし、その場合の指導・監督は発注者が行うものとする。

(一括再委託又は一括下請負の禁止)

第 5 条 受注者は修繕業務の全部を一括して第三者に委任、又は請け負わせてはならない。

(工事費の額)

第 6 条 発注者が受注者に支払う修繕業務に要する工事費用は、発注者が作成した材料単価表および修繕工事計算書（以下「計算書」という。）の単価により算出した額で、材料費、労力費、土木工事費、共通仮設費、諸経費、路面復旧費、外部発注費、消費税および道路使用申請料から積算する。

2 工事価格計は、工事価格に路面復旧費を加算した額に入札率〇〇%を乗じたものとする。

(工事費の支払い)

第 7 条 発注者は、毎月末日をもって計算書及び作業日報兼数量集計書の提出を締め切り、翌月の末日までに工事費を支払うものとする。

(法令等の遵守義務)

第 8 条 受注者は、関係法令および松江市水道給水条例等（以下「法令等」という。）を遵守しなければならない。

2 法令等の定めのないときには、発注者の指示を受けるものとする。

(工事施工の際の遵守事項)

第9条 受注者は、工事箇所の現地調査および確認を行い、現場状況を判断し必要な業務を実施する。

- 2 発注者は、必要があるときは、職員を現場に派遣する。
- 3 受注者は、発注者から指示があったときは、これに従い迅速に工事を施工する。
- 4 官公署に対する道路掘削許可等の必要な手続きは受注者が行う。ただし、緊急工事の場合、官公署への連絡は発注者が行うものとする。
- 5 断水通知、水運搬等の必要がある場合は、発注者、受注者協力してこれを行う。
- 6 受注者は、危険防止および交通安全上必要な施設を設け、事故が無いよう責任を持って現場を管理しなければならない。
- 7 受注者は、当該工事に起因して生じた路面の沈下等については、工事竣工後2年間、これを無償で補修するものとする。
- 8 受注者は、工事完了後、速やかに発注者に完了報告を行い、計算書、作業日報兼数量集計書および工事写真を提出しなければならない。

(秘密の保持)

第10条 受注者は、本契約の履行上知りえた秘密を第三者に漏洩してはならない。

(契約期間)

第11条 この契約の有効期間は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までとする。

(契約の解除)

第12条 発注者は、受注者の瑕疵により本業務の継続が困難と判断した場合、本契約を解除することができる。

(定めのない事項等)

第13条 この契約に定めのない事項については、或いは定められた条項について疑義が生じたときは、発注者、受注者協議のうえ決定する。

- 2 前項に関わらず、業務遂行に支障が生じ、市民生活に重大な支障が生じることが想定される場合は、上下水道事業管理者の裁量において業務を遂行できる。

この契約の証として本書2通を作成し、発注者、受注者押印の上、各自1通を保有する。

令和6年4月1日

発注者 松江市学園南1丁目17番24号  
松江市上下水道事業管理者  
上下水道局長 小塚 豊

受注者 松江市〇〇町〇〇〇番地〇  
〇〇〇〇株式会社  
代表取締役 〇 〇 〇 〇